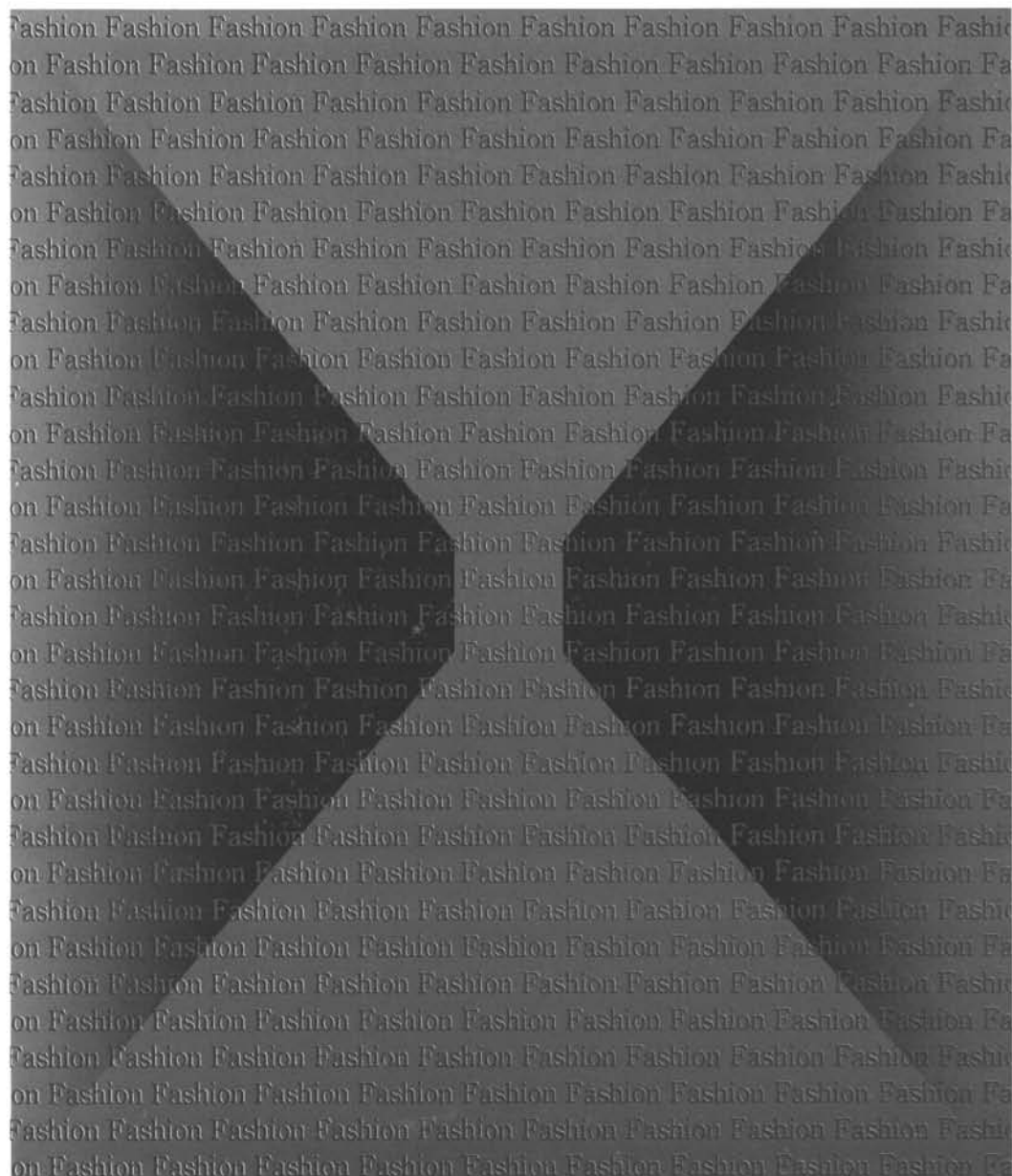


繊維ファッション情報ガイド

— 図 書 ・ ビ デ オ ・ 映 画 —



繊維産業構造改善事業協会

繊維ファッションを学ぶ手がかりに

この本は、『未来を担う若い人々が繊維ファッションを学ぶとき、手がかりになるように』そのような狙いで企画しました。

現在社会においてはファッションは大切な生活要素です。私どもの受け持ちは繊維に関するファッション、つまり衣と衣生活に関する分野ですが、いま、人々の暮らしのなかで衣は大変に高度化しています。産業界の永年の努力によって世界の中でも相当に高いレベルに達していると思われませんが、産業はこれからもますます高まる衣生活のニーズにこたえ、また人類普遍のあこがれであるファッションで世界に貢献できるよう研鑽していかなければなりません。

このような産業界のおもいに教育界も立ち上がりました。アパレル人材育成産学協議会です。長い名称ですが、要するにこれからの高度なファッション社会に産学が協力しようという活動体（平成4年発足）です。その主な活動として「若い人々のためのファッション教育」があります。産業人（プロ）になるためということではなく、未来の社会人としてファッションの関心を高め、ファッションの感覚を磨いてもらおうという趣旨です。

私ども繊維産業構造改善事業協会は産学協議会の活動の一環としてこのガイドブックを製作しました。狙いは若い人、特に高等学校の生徒、大学短大の学生さんを想定していますが、高校生の場合はやはり先生方のガイダンスが必要かもしれません。そこで家庭科、社会科等の先生方の参考にしていただくことを念頭に企画しました。

本書は生活のなかのファッションという立場から産業やビジネスの要素も多くとり入れましたが、それに関連して現在、ファッション最前線でご活躍中のプロフェッショナルの方々にご協力を賜りました。ご協力に対し深くお礼申し上げます。

また、本書の企画編集は繊維ファッションガイドブック企画編集委員会に担当して頂きましたが、高見俊一氏をチーフとする委員諸氏のご尽力いただきました。さらに鈴木志佐子氏には委員会の外から編集企画全般にわたりご指導いただきました。厚くお礼申し上げます。

最後に、できるだけ多くの学校と先生方、産業界の若い方々にご利用いただきますことと、本書の改良に関しご意見など賜りますことをお願い申し上げます。

平成7年2月
繊維産業構造改善事業協会
繊維ファッション情報センター

本書のねらいと利用のしかた

1. ガイドブックのねらい

「食や住の領域は得意だが、衣の分野では何を教えたらよいか…」と
りわけ1994年度からスタートした「男子の家庭科」で何を教えるべきか、
現場に混乱が見られるとの情報が入ってきている。

バブル経済崩壊と同時平行に社会の構造変革が起こり、政治も経済も個人
の生活も変わりつつある。ファッション業界も例外ではない。いつのま
にか、アパレル産業は、輸出産業から輸入産業になり、いままた、さら
に、製造業の空洞化の問題に直面している。

生活者は、一時の高級品、高額品志向から一転、価格志向に向いてい
る。その上、バブル期の学習効果から「衣料品」選択の目的的確になりつ
つあり、同時に「衣料品」をライフスタイルとの関係でみる傾向もみえて
いる。

生活者が変わり、業界自体も混乱しているのだから、生活の中での「衣
料」、関連産業としてのアパレル産業という領域をどう教えたらよいか、
混乱が伴うのは当然といってもよいかもしいない。しかし、景気回復
とともに、「衣生活」「ファッション産業」の将来像もみえ始めてきた。産
業を支えるのは仕組みと同時に優秀な人材である。1992年以降、ファッ
ション業界、ファッション系の専門学校では、アパレル人材育成産学協議
会を組織し、業界に優秀な人材を確保、育成するためには各種の提案をし
てきている。

すでに、教育用ビデオ「ファッション物語—made of dreams」(繊維
ファッション産業 PR 教材)も作成し、おかげさまで好評を博している
が、さらに、より詳細にファッションならびに、ファッション産業の実態
を理解していただくための道具として、ファッションに関する図書、映像
のガイドブックを作成した。

このガイドブックは、「衣生活」の領域に限定されるが、高校の先生方
に、「家庭科」の授業のシラバスの作成や生徒の進路指導の際に、役立て
てもらうためのものである。単なる図書のリストアップだけではなく、よ
りわかりやすくするために、「コラム」欄では、現場で活躍している人
に、自分の仕事を語ってもらったり、簡単なファッションならびにファッ

ション業界の構造、仕事を紹介している。

ファッション業界は、他の業界に先立って、プロとして活躍している人材が豊富で、その機会が多いのも特性となっている。その意味からいうと、特に、女性の活躍の場が多いのが特徴といえる。

2. 仕組み

このガイドブックは、3部から構成されている。〔1〕では、ファッションならびにファッション産業の紹介をしている。まず、全体を理解する意味でも一読していただきたい。次に〔2〕では、6つのジャンルに分け、ジャンルごとの簡単な説明と理解に役立つ図書、映像をセレクト、1冊ごとに内容を紹介している。そして、〔3〕では、文化論、歴史書、およびファッション産業に関連する図書全般をジャンル別にリストアップしている。それぞれ関心のある領域に目を通して必要に応じて利用していただきたい。

さらに、ファッション産業全体がよく理解できるように、ジャンル別構成に工夫している。産業のしくみ、ビジネスの特性、仕事の流れを基本にしたジャンルの中から、目的の図書を選び出していただきたい。

3. 便利な利用方法

もちろん、どのように利用されてもよいが、参考までに、いくつかの利用方法を次に、紹介してみよう。

(利用方法)

- ・〔1〕でファッションならびにファッション産業全体を理解する
- ・関心あるジャンルに目を通す
- ・コラムの拾い読み…学生に具体的な仕事の紹介に便利
- ・主要な図書の紹介欄、興味のある本の内容がチェックできる
- ・索引を利用すれば、目的とする書籍、映画（VTR）を簡単に見付けられる
- ・職務による検索ができる
- ・原則として、本屋に在庫のある本を紹介しているので、関心のあ

る図書（映像）については購入して利用できる

- ・主要図書については、繊維ファッション情報センター（繊維産業構造改善事業協会）、各地の繊維リソースセンターに置いてある（予定）
- ・映画については、VTR化しているもの、レンタル可能なものを付記してある
- ・学生からの質問には、ヒントを示し、このブックガイドを利用させ、自分で調べさせる

4. このような要望に応えるブックガイド

- ファッション業界の現状を知りたい
（〔1〕で全体を理解し、興味をもったジャンルは紹介図書で）
- どのような仕事があるのか
（コラム欄で現場で活躍している人が説明、その他〔1〕参照）
- 学生に貸して読ませたい
（学生にもわかりやすい記述、この本を参考に自分で調べさせる）
- 授業に利用したい（男子の家庭科の教材）
（〔1〕ならびに、コラム欄を参考にしてほしい）

5. この本の特性

図書、映画を通じて、ファッション、ならびにファッション業界を理解してもらうために本書は編纂されている。そのため、ハンドブック的性格、ムックの性格をもっている。ファッション関連の書籍は、本屋の店頭では、さまざまな分野に分散しており、目的の本を探すのが困難であるが、将来的には、この本の分類でコーナーを設置してもらうよう書店に働きかけていくつもりである。

また、ファッションは、映像、ビジュアルな要素が多いため、映画（ビデオ）が重要な情報源となる。映画はビデオ化して、従来に比べ、入手しやすくなっており、本書では、図書と映画（ビデオ）をリストアップ、その内容を紹介している。

さらに、単なる図書、映画紹介による単調さを避けるためにも、コラム、簡単な解説文を差し込むことで、読物としても利用できるよう配慮している。

本来の目的は、適切な本、映画との遭遇によって、直接的にファッションへの興味、ファッションの仕事への関心をもっていただくことにある。それゆえ、時間をかけずに、出来るだけ直接的に目的を満足させる図書に到達できるよう複数の索引を設けているので、引きやすい方法で利用してほしい。

6. 〈先生へのお願い〉

はじめての試みとしてまとめた、まだ未完のガイドブックです。ぜひ、ご利用いただき、お気づきの点、提案をお寄せください。次回、改訂版作成の際に、積極的に採用させていただきます。学生の意見、反応もお聞かせください。読み手との交流によって、より利用しやすいものにしていきたいと思えます。

正直言って、結果として掲載図書に片寄りがあることは認めるところですが、しかし、その片寄りは、改訂を加えていくことで、「個性」としていきたいと考えています。

本書をまとめるにあたって、下記の方々、並びに機関にご協力を賜りましたので、ここにお礼申し上げます。

○ 執筆にご協力頂いた方々

鈴木 志佐子 国際服飾学会会員
高橋 暎一 シネマ・ファッション研究家
宇田 津栄也 ラビッサントウ(株) 代表取締役社長

○ 取材にご協力頂いた方々

深井 晃子 京都服飾文化研究財団 主任キュレーター
渡辺 正一 (株)木馬 代表取締役社長
豊口 武三 『TAKEZO』デザイナー
室井 修 (株)オンワード樫山『組曲』マーチャンダイザー
小林 圭太 中央公論社『マリクレール・ジャパン』編集長

○ 表紙デザイン・写真撮影

賀谷 邦彦 (株)ハナムラ マーケティング室
辻 英一 TSUJI STUDIO

○ 資料を提供して頂いた機関・団体

文化女子大学図書館
川喜多記念映画文化財団
フランス映画社
カルチュアコンビニエンスクラブ
レンタル・ショップ蔦屋
(株)インファス

○ 企画・編集 人材育成専門調査委員会繊維ファッション情報
ガイド製作提供実行委員会

高見 俊一 実践女子大学 講師
山崎 昭雄 市田(株) 経営企画部長
恵美 和昭 (株)東洋紡 F.P.L 取締役社長
北 畠 耀 文化女子大学 教授 文化図書館長
渡辺 貞一 白萩服飾専門学校 校長
伊藤 式子 元お茶の水女子大学付属高校・講師
酒井 まち子 自由が丘ソレイユ学園専門学校 学校長代行
小幡 時彦 実教出版(株) 出版部長
小関 ひろみ 東京都立日野台高校 教諭
岡田 玉恵 ルートエフ・プランニング
深沢 裕子 ゼン・プランニングコーポレーション
高沢 みち子 ファッションプランナー
内藤 英雄 繊維ファッション情報センター統括主幹

繊維ファッション情報ガイド

—— 図書・ビデオ・映画 ——

目 次

本書のねらいと利用のしかた

【1】ファッションとファッション産業

1] 人と社会とファッションと ————— 15

- 女性 は 都市の一部です
- ファッションの本当の主役は消費者
- お金をかけないでシックに着こなす方法
- ファッション雑誌のコピーは、非常に危険です
- ファッションは新聞でいえばフロントページ（一面記事）の課題

▶ファッションの現場から①・深井晃子さんに聞くキュレーターの仕事

2] ファッション産業のしくみ ————— 25

- ファッション産業とは
- 繊維産業の歴史
- 繊維卸商業の歴史
- アパレル産業の歴史
- 小売業の歴史
- ファッション産業の流通機構

▶ファッションの現場から②・テキスタイルの仕事
テキスタイルと服（寄稿・ラビッサントウ宇田津栄也氏）

▶ファッションの現場から③
『MOKUBA』に聞く副資材メーカーの仕事

3] ファッションの仕事 ————— 45

- 多彩なアパレル・ファッションの仕事

- アパレル・ファッションの仕事の特性
 - 専門的な知識・技術／女性向きの仕事／クリエイティブな仕事／日常生活に密着
- アパレル・ファッション産業の仕事の紹介
 - デザイナー／パターンメーカー／マーチャンダイザー／バイヤー／FA（ファッションアドバイザー）／演出担当者（デコレーター）／プレス／ファッションコーディネーター／スタイリスト
- その他の専門的な仕事
 - ショーディレクター／グレーダー／生産管理者／カラリスト／ファッション・ジャーナリスト／マーケットター／営業
- プロフェッショナルへの道
 - ▶ファッションの現場から④
 - 『TAKEZO』に聞くデザイナーの仕事
 - ▶ファッションの現場から⑤
 - 『組曲』に聞くマーチャンダイザーの仕事
 - ▶ファッションの現場から⑥
 - 『マリクレール』編集部に聞くジャーナリストの仕事

4] ファッションの魅力、その未来展望 ————— 61

17世紀の終わり頃民衆の衣料素材が麻から綿へ変化した／衣服の心理的機能は服装の歴史を見てもわかる／ファッションを享受する者が一部の富裕階級から大衆へと拡大／わが国の繊維産業・ファッションのダイナミズム

【2】“セレクション” — 繊維ファッション情報・ガイド

1] 人と社会とファッションと ————— 66

- 文化としてのファッション
 - ▶『ぴあデザイナーズファイル』／『ぴあ fashion dream』／『モノの誕生「いまの生活」』／『みっともない人体』／『サーカスへようこそ』／『ブーム』／『カルト・ヒーロー』／『欲望と消費』／『有閑階級の理論』／『消費の欲望』／『モードの社会史』／『ちょっと見るだけ』／『ドレスアップ・ドレスダウン』／『衣裳のフォークロア』／『服飾の表情』／『木綿以前の事』

●ファッションの歴史

- ▶ 『パリモードの200年』／『写真に見る日本洋装史』／『世界の民俗衣装』／『ファッションの歴史』／『ビジュアル博物館・服飾』／『西洋服装史』／『増補版・ファッションの歴史』／『衣服論・服飾の歴史と現代』／『衣服の民族誌』／『ファッション史探検』／『洒落者たちのイギリス史』／『日本服装史』／『染織の文化』／『着物・染と織の文化』／『きもの文化史』／『パリ・コレクション』／『20世紀モードの軌跡』／『ジャポニスム・イン・ファッション』／『モードの帝国』

2] ファッションビジネス I -産業とビジネスのしくみ- 94

●ファッションビジネス

- ▶ 『モード・ジャポネを対話する』／『ファッションビジネスの世界』／『逆風に挑むファッションビジネス』／『1995 繊維産業のパフォーマンス』／『ファッション業界』／『ファッション大国への道』

●テキスタイルビジネス

- ▶ 『繊維業界』／『ハンドブック・日本のテキスタイル産地』／『ニューファイバー・サイエンス』／『おもしろい繊維のはなし』／『わかりやすいアパレル素材の知識』

●アパレルビジネス

- ▶ 『よくわかるアパレル業界』／『アパレル業界』／『3年後のアパレル業界浮沈の構図』／『ファッションビジネス必勝入門』／『ベネトン物語』／『レナウン・ファッションの未来戦略』

●リテールビジネス

- ▶ 『百貨店進化論』／『百貨店の再興』／『スーパー業界』／『アパレルリテール』／『大激震のアメリカ流通業』

3] ファッションビジネス II -ファッションの仕事- 108

●マーケティング

- ▶ 『マーケティングの革新』／『アパレルマーケティングI』／『村田昭治のマーケティング・ハート』／『〔五感〕の時代』／『ファッション・マーケティング入門』／『企画の発見』

●マーチャングデザイン

- ▶ 『グローバル・ファッションと商品企画』／CG&アパレル CAD によるファッション企画入門』／『マーチャングデザインII=高感度商品企画』／『わかりやすいテキスタイル企画』／『新しい繊維の知識』／『マーチャングデザインの知識』／『アパレル色彩企画』／『テキスタイルデザイナー-配色設計-』

『HIVC 基準色票』／『販売員必携マニュアル』／『VP がわかる本』

●プロダクション

- ▶『被服と人体』／『服装造型』／『パターンメイキングの原理』／『多サイズ展開のグレーディング』／『アパレル製作技術・製品設計』／『ハンドブック・職業用ミシンの操作と調整法』／『アパレル生産管理』／『アパレルと副資材』

4] ファッションスペシャリスト—デザイナーズ・ストーリー ————— 124

●ココ・シャネル物語

- ▶『シャネル20世紀のスタイル』／『獅子座の女シャネル』／『シャネルの生涯とその時代』

●デザイナーズストーリー

- ▶『一生たち』／『レイ・カワクボとコムデギャルソン』／『ポール・ポワレの革命』／『裸で生きたい・ソニアのファッション哲学』／『ラルフ・ローレン物語』

5] 辞書・辞典・図鑑・用語 ————— 132

- ▶『服装大百科事典』／『服飾文化史図鑑』／『ファッション事典』／『田中千代服飾事典』／『エスカイア版20世紀のメンズ・ファッション事典』／『色彩演出事典』／『デザイナーのための色彩資料総覧』／『西洋文様事典』／『図解服飾用語辞典』／『4か国語ファッション用語集』

6] ビジュアルライブラリー ————— 140

●シネマセレクション—映画の中のファッション

- ▶10年代から90年代までベストシネマ・セレクション25
- ▶映画の中のファッションを読む本・『スクリーン・モードと女優たち』／『モード・イン・ハリウッド』／『魅惑という名の衣裳』

●ファッションビジネス&コレクション情報

- ▶『ファッション・ドリーム』／『モードのジャポニスム』／『ファッション物語—MADE OF DREAMS』／『ファッション・テキスタイル』／『テキスタイルビジネス』／その他

●ファッション—マガジン・セレクション

- ▶『SOEN EYE』／『is』／『流行観測 ACROS』／『流行通信』／『gap』／『マリクレール・ビス』／『GQ』／その他

【3】繊維情報ガイド・ブックリスト

1] ファッション文化論	170
2] ファッション史 ヨーロッパ編/アジア編	175
3] ファッションビジネス一般	180
4] ファッションビジネスのしくみ テキスタイル/アパレル/リテール	182
5] ファッションビジネスの仕事 マーケティング/マーチャンダイジング/プロダクション/販売	184
6] デザイナー	194
7] 映画	196
8] 消費科学	197
9] 辞書・図鑑・用語	198
10] テキスト	200
書名別索引	206
発行年に見る時代性と傾向	216
編集をおわって	221